

2020年東京オリンピック空手道正式種目化運動に対する当連盟の考え方

[平成27年4月26日 全国理事会にて承認]

会員諸氏におかれましては、和道流の精神の下、心身ともに研鑽に努めておいでのことと思っておりますが、日々の精進に改めて敬意を表します。

2020年の東京オリンピック開催が決まってから早くも2年が経とうとしています。また、IOC臨時総会で「アジェンダ2020」が可決され、オリンピック・パラリンピック東京大会での種目追加と、開催都市による追加種目提案権が認められたことから、全日本空手道連盟を始めとして、各種の団体等において正式種目化への働きかけが活発になっていることは会員諸氏もご承知のことと思っております。

このような情勢下で「和道流としてはどのようなスタンスでいるのか？」という問い合わせが少なからず寄せられておりますので、和道流空手道連盟としての考え方を明らかにして、会員諸氏のご理解をいただきたいと思っております。

和道流空手道連盟は、諸々のいきさつから全日本空手道連盟には加盟しておりませんが、日本古武道振興会、日本古武道協会の会員として、空手界にはその影響力を少なからず持っているところです。

もとより、当連盟としては独自の大会を開催し、また会員諸氏もそれぞれの地区大会やブロック大会、あるいは国体等の全日本級の大会にも出場しているところでありますが、試合競技というのは、それぞれの大会ごとに試合競技ルールがあり、参加出場する以上は、主催者が定めるルールに則って試合競技することは、人として、また武道家として当然のことです。今般、東京オリンピックに空手道が正式採用となった場合でも、IOCが認めるルールの下に試合競技がなされることとなります。

我が和道流は、流祖がお示しになられた武道の精神即ち「武の道は ただ荒事とな思ひそ 和の道究め 和を求む道」という言葉にある通り、和道流の技を究め、和の道を求めるために修行を継続するのが本道です。

しかしながら、その道を外さない限り、修行の一過程として他のルールに従って試合競技に出場することを拒むものではありませんし、それ以上に、東京オリンピックの正式種目に採用された暁には、我が和道流会員がその中心となり、オリンピックを通じて世界に和道流の精神を発揚していくことも大いに期待するところでもあります。

このような考え方から、和道流空手道連盟としても「2020年東京オリンピック空手道正式採用化」に大いに賛意を示すところです。

以上